

# No. 1223

## 明 る い 社 会 を

6月17、18日の両日、東京竹橋にある科学博物館で「社会を明るくする運動」の一環として全国刑務所作業製品展示即売会が開かれました。

少年院の庭でとれた大根1本10円、じゃが芋一袋50円と会場は朝から熱気をおびています。

これは府中刑務所でつくったパン。1本50円也。みなさん2本3本と買っていきます。

ブームに乗って植木も飛ぶような売れゆきです。現在全国の刑務所にはおよそ、4万人の受刑者が収容されています。

ここ東京中野刑務所には初犯、刑期一年以上の人が送られてきます。分類センターでテストが行なわれ、各人に適した施設に移されます。受刑者の矯正をはかる様々な職業訓練。そこで作られた作品は、みごとな作品ばかり、種類の多さもデパート並みです。今年の入場者は1万8,000人、売り上げおよそ、3,100万円と、この即売会も、一般に定着してきました。

## “激戦” 東京地方区

— 参院選 スタート —

与野党逆転が最大の焦点となった第11回参院選は6月17日公示された。退潮傾向が続く自民党は原文兵衛氏をたて必勝をねらう。長老野坂氏の後を受けて共産党から立候補は榑とし夫氏。総選挙の惨敗から立ちなおれるかどうか。社会市民連合の発足で受けた打撃から党の立て直しに成功するか、社会党。今正一氏は議席の奪還をめざす。総選挙で躍進した公明党。黒柳明氏は上位当選をめざす。泣きの木島で見事議席を確保した民社党。引き続き確保なるかどうか。初めて全国的な審判を受ける新自由クラブ。柿沢こう治候補は家族で必勝を祈願した。江田三郎氏の急死がどうひびくか、社会市民連合の菅直人氏。革新自由連合、俵萌子氏とともに誕生間もない新集団が政治の舞台にどのように台頭してくるか。4つの議席をめざし激戦が展開される東京地方区。7月10日の投票日にむけて参院選はスタートした。